



子どもたちの様子と今月のねらい



3 歳児 うさぎ組

2学期は、「これをやってみようかな」という姿から「これをやりたい」「こうしてみよう」という姿へと少しずつ変わってきた時期でした。3学期は、安心・安定を大切にしながら、保育者や周りの幼児と一緒に遊ぶ楽しさを十分に感じられるようにします。また、生活面では身の回りのことが自分でできる嬉しさを感じられるように、一人ひとりの姿を認めていきます。2月の子ども会（表現遊び）に向けては、絵本やお話しのイメージを楽しみながら一人ひとりがのびのびと表現する楽しさを感じられるようにしていきます。

<今月のねらい>

○保育者や周りの幼児と一緒に、やりたい遊びを十分楽しむ。

○絵本やお話の世界を楽しみ、自分なりに動いたり表現したりしようとする。

○冬の生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。

<家庭との連携>

生活リズムを整え、早寝（幼児期は 10 時間以上の睡眠が必要です）や丁寧な手洗い・うがいを行い、元気に過ごせるようにして風邪や感染症の対策をしていきましょう。また、鼻水が出たときには、拭くだけでなく、かみ方を知らせていき、自分でもできるようにしていきましょう。



4 歳児 くま組

2 学期は、自分の思いを言葉や動きで表しながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいる姿が増えていきました。3 学期は、自分の思いを言葉にして伝えるとともに、友達の話にも耳を傾け、友達と関わりながら遊ぶ楽しさを、より一層感じられるようにしていきます。

今月は、コマや羽根つき等の正月遊びに興味をもち、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じながらも、繰り返し楽しめるようにしていきます。

<今月のねらい>

○保育者や友達との再会を喜び、自分のやりたい遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。

○寒い中でも戸外で運動遊びを楽しみ、体を動かす心地よさを感じる。

○自分の思いを出す中で、友達や保育者に思いを受け止めてもらう嬉しさを感じる。

○生活に必要なことを友達と一緒にしようとする。

<家庭との連携>

寒さから、手洗いを簡単に済ませたり、鼻水が出ていたりする姿がよく見られます。健康に過ごすためにも、手洗い・うがいを丁寧に行うことや鼻をかむことを伝えていきます。ぜひ、ご家庭でも保護者の方と一緒にいき、冬を元気に過ごしましょう。



5 歳児 そう組

今日から3学期が始まりました。修了に向けてそう組で過ごすのもあと49日間です。修了までの、1日1日を大切にしつつ、遊びや生活等、様々な活動を通して、子どもたちが「小学校に行っても大丈夫!」と自信をつけられるようにしていきます。

今月は、コマ回しやすごろく・カルタなどの正月遊びを楽しむ中で、繰り返し挑戦する経験をしたり、友達と刺激を受け合いつつ、同じめあてに向かって自己を発揮しながら遊ぶことを経験したりできるようにしていきます。

<今月のねらい>

○自分のめあてに向かって繰り返し挑戦し、満足感を味わう。

○互いの考えを認め合いながら、自己を発揮し、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。

○冬の自然に興味や関心をもち、発見を楽しみ、遊びに取り入れたり調べたりする。

<家庭との連携>

小学校に入学することに期待感をもつ幼児が多い一方で、不安や寂しさを感じ、これまでと違う姿が見られることもあります。保護者の方の小学校での思い出話を聞き、期待感がもてるようにするのもいいですね。気になることがありましたら、担任にお知らせください。



ほしグループ 長時間保育

先月、玄関ホールやみんなのへやの壁面にサンタとトナカイの絵を貼ったところ、早速子どもたちが気付いて「サンタが飛んでる!」と周りに教えていました。そこからサンタにお願いしたプレゼントの話や、年末年始のお出かけの話など、子どもたち同士で楽しい話が広がっていきました。外遊びでも、室内遊びでも、誰かがサンタの話をすると、学年に関係なく集まって話が始まります。言葉での表現の仕方や思いの出し方に個人差はありますが、『サンタ』という共通の話題があることで、相手の話に耳を傾けようとする姿が見られます。

子どもたちは、遊びの中で思いを口にしたり、相手とやり取りをしながら遊んだりすることで、自分なりの言葉で表現することや、会話をする楽しさを感じています。そこから、思いを自分なりに表現する方法や、相手に伝わる話し方を徐々に学んでいきます。今年も、子どもたちとたくさん会話をして、笑顔あふれる一年にしていきます。

